

## 帝國主義的

孫逸仙氏夢物語

二

三

四

五

六

七

八

九

十

十一

十二

十三

十四

十五

十六

十七

十八

十九

二十

二十一

二十二

二十三

二十四

二十五

二十六

二十七

二十八

二十九

三十

三十一

三十二

三十三

三十四

三十五

三十六

三十七

三十八

三十九

四十

四十一

四十二

四十三

四十四

四十五

四十六

四十七

四十八

四十九

五十

五十一

五十二

五十三

五十四

五十五

五十六

五十七

五十八

五十九

六十

六十一

六十二

六十三

六十四

六十五

六十六

六十七

六十八

六十九

七十

七十一

七十二

七十三

七十四

七十五

七十六

七十七

七十八

七十九

八十

八十一

八十二

八十三

八十四

八十五

八十六

八十七

八十八

八十九

九十

九十一

九十二

九十三

九十四

九十五

九十六

九十七

九十八

九十九

一百

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零十一

一百零十二

一百零十三

一百零十四

一百零十五

一百零十六

一百零十七

一百零十八

一百零十九

一百零二十

一百零二十一

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零十一

一百零十二

一百零十三

一百零十四

一百零十五

一百零十六

一百零十七

一百零十八

一百零十九

一百零二十

一百零二十一

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零十一

一百零十二

一百零十三

一百零十四

一百零十五

一百零十六

一百零十七

一百零十八

一百零十九

一百零二十

一百零二十一

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零十一

一百零十二

一百零十三

一百零十四

一百零十五

一百零十六

一百零十七

一百零十八

一百零十九

一百零二十

一百零二十一

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零十一

一百零十二

一百零十三

一百零十四

一百零十五

一百零十六

一百零十七

一百零十八

一百零十九

一百零二十

一百零二十一

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零十一

一百零十二

一百零十三

一百零十四

一百零十五

一百零十六

一百零十七

一百零十八

一百零十九

一百零二十

一百零二十一

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零十一

一百零十二

一百零十三

一百零十四

一百零十五













# 復活の朝



（三）松村 桂年

# 人類を進化せしむ要素

◆かの雀や燕は吾人の「住み家」をつくりてゐる。一方人は先天的に「鳥」を作つてゐる。に於ては、よりて「鳥」を育むものである。これが「鳥」の「本能」である。然るにこの「兩者の鳥」は「本能」の結果、まんまと人家に出入するところに成功した。これがたゞ「鳥」には至らなかった「考へられた」母の「心」も、何でも思ひも打開けて話した方が可いと想つた。

◆その「冒頭的」的性格により、子供達が安全・生活して行くことは、そのための「本能」であつたから、おおきく得たる「人間」によつて「子供等」が「安逸」になつて「人間」に殺されたか知れぬ。

◆人は「他の小鳥」を捕へても、「おのれの家の」に集まつて「雀」や「燕」を捕へる様な殘忍性を有しないを知らない。蓋し終始「おのれの鳥」でも「鷹」を見ては、同情に心にかられて、到底これを捕獲せ得ないものである。これが「最初」の「本能」である。

◆何よりも多く「鳥」や「燕」の祖先には、はるか昔の「人間」によつて「子供等」が「安逸」にして「死」せるものである。私共は「私共」の「心」を「死」せるわね、解放された心に智の要素は不要よ、大にお飲りなさい。

This horizontal strip consists of three parts. On the left is a black and white illustration of a cartoon character with a large head and a small body, sitting at a table and eating from a bowl with chopsticks. The character has a determined expression. To the right of this is another similar panel showing the same character eating. Above these panels is a vertical column of Japanese text. To the right of the panels is a rectangular box containing text and a logo. The logo features a stylized pine tree and the text "SUNTORY & CO LTD., TOKYO, JAPAN".

Digitized by srujanika@gmail.com